

## 令和5年度第1回浜松市歯科保健推進会議 会議録

- 1 開催日時 令和5年7月20日(木) 午後1時30分から午後3時00分
- 2 開催場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室
- 3 出席状況 委員 木村 裕一(会長)、池谷 志保、磯部 智明、  
稲川 弘子、小田 史子、北村 庄吾  
才川 隆弘、鈴木 浩子、野寄 秀明、村上 祐介
- 事務局 平野由利子医療担当部長、渥美雅人健康増進課長、  
小笠原雅美健康増進課長補佐、伊藤梓口腔保健医療セ  
ンター所長、川瀬真由口腔保健医療センター、板倉称  
健康福祉部参与、西崎公康健康医療課長、大村貴弘介  
護保険課長、久保田尚宏障害保健福祉課長、鈴木博高  
齢者福祉課医療・介護推進担当課長、前島卓志国保年  
金課長、新谷知香枝こども家庭部幼児教育・保育課指  
導グループ長、小松弓美学校教育部健康安全課長補佐
- 4 傍聴者 0人
- 5 議事内容 (1) 令和4年度歯科口腔保健事業実績  
(2) 口腔保健支援センターの関連事業実績  
(3) 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組  
(4) 歯科保健の推進に関する委員のご意見  
(5) 令和5年度歯科保健事業計画
- 6 会議録作成者 健康増進課口腔保健医療センター 井川昌代
- 7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 有

## 8 会 議 記 録

### (1) 令和4年度歯科口腔保健事業実績

(事務局)

令和4年度歯科口腔保健事業実績について説明を行った。

(委 員)

質問なし

### (2) 口腔保健支援センター関連事業実績

(事務局)

口腔保健支援センター関連事業実績について説明を行った。

(会 長)

いい歯の日の時にチラシを配った際に、希望者には歯周病検診の受診券を発行したとのことだが、希望者はどのくらいいたのか。

(事務局)

希望者の人数を把握していないが、あまり多くはないと認識している。

(会 長)

歯科口腔保健推進計画の評価について、歯科はほぼ100%目標達成しているが、簡単にクリアできる目標でよいのか。オーラルフレイルなどの課題を次期計画の目標に取り入れていけばよいと思う。

### (3) 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組

(事務局)

歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組について説明を行った。

(委 員)

質問なし

### (4) 歯科保健の推進に関する委員のご意見

(A委員)

歯科訪問診査利用により口腔機能や生活機能の向上に繋がった事例の紹介、そして、ケアマネの理解を深めるために、ケアマネ等向けに歯科訪問診査の目的や利用の流れをわかりやすく示したのがあると、ケアマネ等がより理解しやすく、ご利用者やご家族に説明しやすいと要望があった。

(事務局)

ケアマネの方が集まる機会があれば、オーラルフレイルの啓発や、訪問歯科診査の流れなどを説明する機会を頂ければと思っている。

(A委員)

ケアマネ連絡協議会の総会（6月）や市内全体の会員向けの研修の機会（例年11月、12月）の時に合わせていただき発信していただければ可能である。また、役員会を年に

1、2回開催しているので、そちらで発信していただいてもよいと思う。

(事務局)

障がいのある方にとってかかりつけ歯科医を持つことは非常に重要であり、できれば低年齢からであることが望ましい。低年齢の保護者の集まりの場などで、情報提供することはできないか。

(B委員)

幼児の部会に伝えて、先生方に来ていただく機会を作ればと思う。通園の施設では感染対策に慎重なところもあるため、回数が増えてしまうかもしれないが、お願いしたいと思う。

(事務局)

各区の集まる時などに歯周病検診やオーラルフレイルの啓発を行えないか。

(C委員)

多分可能だと思う。オーラルフレイルについては、歯科衛生士にきて話をしてもらっている。

(C委員)

インプラントについてお聞きしたい。

(会長)

インプラントは、保険で収載されている所は外傷の場合など特例で一部ある。基本的には自費診療のため、金額が各医院で異なる。そのため、治療する前に事前に歯科医院で説明をしっかりと聞いてもらうことが大切である。

(事務局)

園児の食に対して困りごとがある園があることを聞いているが、現状の把握ができていないため、園の給食の時間などを見学することは可能か。

(D委員)

可能だと思うが、園長会で検討して後日連絡したい。

発達を意識した離乳食の進め方や歯の健康調査結果、オーラルフレイルの啓発情報等をスマホやタブレットから情報が読み込みやすいようにQRコードを発行してはどうか。

(事務局)

QRコードを用いた保護者への情報発信については、今後検討していきたい。

(E委員)

以前は、ケアマネの研修会に歯科医師会がお邪魔して訪問診査のことについて話をしたりケアマネ協議会と歯科医師会が会議をする機会があったりしたが、ここ何年もないため実施して連携を深めていければと思う。

鈴木委員から意見のあった、幼児期の口の機能を育てることや、歯と口の健康のどちらも意識してもらえるよう、保護者に話せる機会を作っていただければと思う。また、オーラルフレイルについて、QRコードを歯科医師会でも出しているの、HP等から利用していただければと思う。

(F委員)

成人期の進行した歯周炎を有する人の割合が、40歳から49歳で目標を達成できない

と報告があったが、先頃、歯周病の進行状態を簡易的に調べられるキットを国が開発を推進している情報が新聞に出ていた。今後は職場や歯科医師、衛生士がいない自治体で取り組みたいとの記事があり、そのことも踏まえながら今後検討いただきたい。実際に40歳から49歳のいわゆる働き盛りの世代は、健保組合が現状を把握していると思う。今後健保組合の人を推進会議に呼び情報を聞いたり、協力をお願いしたりすると、新たな展開が起こると思うので、令和6年度以降にご検討いただきたい。

医療的ケア児について障害保健福祉課への質問ですが、令和2年度12月時点で約650人位と聞いているが、令和3、4年の状況について次回でもよいので教えて欲しい。

口腔保健センターについては、医療的ケア児の治療対応依頼が、令和3年4年にどのくらいあったか、口腔医療センターから歯科医師会員に訪問依頼をどのくらい依頼しているかを教えて欲しい。

民間保育園の鈴木委員をお願いします。園で歯科健診を行った時に、当日欠席したお子さんに、園によっては歯科健診を勧めているようだ。健診は園医であれば契約上無料でできるのだが、かかりつけ医に行ってしまうと有料となりトラブルになったケースがあると聞いている。園医＝かかりつけ医ではないため、園医に行くことを園長会で周知して欲しい。

(G委員)

浜松市医師会として、医療と歯科医療をどういう接点で結び付けばよいか。食べることは、健康面で非常に重要なこととなる。生活予防習慣やフレイル、高齢者医療においても栄養面のことが非常に大きな問題になるため、食の入り口である口腔の健康が大事だと思う。健康に関わる部分で色々と協力して活動していくことが、今後可能となると思う。

(H委員)

7 ページ、保育所と幼稚園でフッ化物の洗口の実施園の差があるのは、文部科学省と厚生労働省の国の管轄の違いによるものと考えてよいか。

27 ページ 生涯にわたる歯科口腔保健対策のなかで、高校生が抜けている気がするが、そのケアについて教えて欲しい。

(事務局)

フッ化物洗口実施園の保育所と幼稚園で違いについては、園に説明会に参加してもらい趣旨を理解した上で希望実施しているため、特別に保育所・幼稚園の違いはないと思う。

高校生については、学校健診のデータは少しあるが私立校についてはデータがないため、データ数が少ない状態である。今後の課題としても高校生はもちろん、高校を卒業して働き盛りとなる手前の年代に色々課題があると考えているため、(5)令和5年度歯科保健事業計画の新規事業のところで説明させていただきたい。

## (5) 令和5年度歯科保健事業計画

(事務局)

令和5年度歯科保健事業計画について説明を行った。

(E 委員)

第2次浜松市歯科口腔保健推進計画の策定について、今後どのような形で周知されてくるのか。計画策定にこの会議が関われる機会はどのくらいあるのか、教えていただきたい。歯科保健推進計画で意見を言えるのはいつになるのか。12年間の浜松市の歯科計画であり、国、県の計画から浜松のオリジナルの計画を入れるためには、委員の皆様の意見が大事だと考えている。

(事務局)

計画策定を今年度行うにあたり、時間的なものもあり推進会議を随時行っていくことは難しいと考える。今後8,9月で骨子案、パブリックコメントまで時期が短いなかで計画策定を行っていく予定である。委員の皆様には骨子案等を外に出せる状態の時に、随時情報提供させていただき、それぞれの委員の方にご意見をいただくことでお願いしたい。

その他

(事務局)

令和5年度第2回の歯科保健推進会議は、令和6年の2月の木曜日午後1時30分から3時を予定している。日程については改めて調整させていただきたい。